

# 2820

Rotary  
District 2820



CREATE HOPE  
in the WORLD

9 | Vol.3  
2023

## GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

DIALOGUE Governor+ No.3

東日本旅客鉄道株式会社 水戸支社長 小川 一路氏

ガバナーメッセージ

ロータリーの友月間にちなんで

会員基盤向上セミナー報告

クラブ奉仕研究会

奉仕プロジェクトリーグセミナー

ロータリー財団研究会

青少年奉仕研究会

公式訪問報告つくば学園

ロータリー国際大会2023 inメルボルン報告

地区大会のご案内・

シンガポール国際大会早期登録のご案内

2022-2023年度ロータリー賞受賞報告

2026-2027年度地区ガバナー候補者推薦のお願い

6月会員増強報告

新会員紹介

地区大会企業広告のお願い

ガバナー公式訪問・スケジュール・

第2820地区 第29回地区親善野球大会ご案内

コラム 私の思い・編集後記



DIALOGUE  
Governor + No.3

「見て覧（ミテラン）」と

デスティネーションキャンペーンには共通点が！

<司会：高原地区幹事>

<大久保ガバナー> デスティネーションキャンペーン（以下DC）とは何かを教えてください。

<小川支社長> DCとは、開催地域とJRグループ6社が一体となっていく、国内最大規模の観光キャンペーンです。四半期ごとに全国から選ばれた一つのエリアだけを対象にしていて、同じ時期にほかの地域ではこのキャンペーンをやりません。全国からお客様に来て頂きますので、大きな誘客効果や経済波及効果を持っています。2023年10月～12月は21年ぶりに茨城県が対象となり、キャッチコピーを「体験王国いばらき」としました。ただ単にキャンペーンだけやればいいのかというと、そうでもなく、DCの期間の前から準備をして、終わった後は観光のレベルアップと定着、地域作りのきっかけにして頂きたいと思い取り組んでいます。実際に、DC本番の1年前にはプレDC、1年後

にはアフターDCとしたキャンペーンも展開します。ですから、一過性にしてしまうのではなく、DCをきっかけに地域の皆様と取り組んだいいものが根付いて、そして、より多くの方に継続的に茨城にお越し頂く。ということができると、地域経済とか地域の活性化にも大きく貢献できるのではないかと思います。茨城県にある、いい観光素材を発掘して、多くの地域の魅力をしっかり発信することが大切ですので、さまざまな形で集中宣伝を展開していきます。全国のJRのネットワークを活かし、駅や列車を中心に様々な媒体を活用したプロモーションを展開しますが、最後は地域全体でのおもてなしが大切です。お出迎えなり、茨城県の魅力を提供していくことで、県民総出でファンやリピーターを増やしていく。よく茨城県は魅力度最下位と言われていますが、こういったもので来て頂くチャンスが増えれば、確実に魅力が伝わっ

て、魅力度は上がっていく。そうすることで何度も来てみたくなることを期待しています。茨城DCのテーマである、「アウトドア」「食」「新たな旅のスタイル」を強みとし、新しい茨城の魅力発信をしたいと考えます。コロナ禍で、健康志向の高まりや、あるいは働き方が変わっていくことなどを捉えつつ、茨城の特色をうまく使って、『体験王国いばらき』に仕上げていくということです。特に、アウトドアでは、キャンプとかサイクリングとか、海も霞ヶ浦もあり、いろいろなことができるという点で、体験型が茨城の強みと捉えて、ここを集中的に打ち出していこうということです。昨年のプレDCでは、10月1日から3か月間キャンペーンを行いました。オープニングセレモニーでは、サイクリングのイベントなどを、デヴィ夫人にもご協力頂いてプロモーションしました。そのほか、様々なイベントを茨城県も一生懸命企画してくださり、地域の自治体、あるいは観光に携わる方々、いろいろな事業者さんにもお力添えを頂きながらやっています。どのような方々が、どのような役割を果たしていけばこういったキャンペーンが成功するのかといいますと、実は、地域に暮らす皆様がそれぞれの立場で関わって頂ければ、地域の熱意は来て頂く方々に伝わると考えています。茨城DCの仕掛けをいろいろな方々に活用して頂けるとメリットがより大きくなると思います、そういったことを茨城県と私どもJRとが一体となって取り組んでいければと考えています。

**<大久保>** 茨城県にとってすばらしいことだと思います。私は、地域の活性化を一言で言うと、人が増えることだと思うのです。しかし、居住人口はもう増えない。そうすると観光人口、就学人口、就労人口、買い物人口を集める努力をしていかなければならない。また各市町村の個性も生かしてということもあると思うので、茨城県内でも都市間競争が起こります。こうした中で切磋琢磨して、アイデアを出して、頑張るところに、結果として活性化が出てくると思うのです。私は、ガバナーとして、各クラブに街の魅力のコンテンツを2つ出してもらって、「見

て覧（ミテラン）」というガイドブックを作りましょうと提案しました。地区の委員会と各クラブにお願いして、お薦めのスポットを出せと言っているわけです。地元の人が愛して、なおかつ人にも来てほしい。このガイドブックを11月までに作りますから、JRさんにまいて頂くとか置いて頂いてもよろしいですか。何十冊か用意します。

**<小川>** いろいろとできることはあると思います。私たちも、「駅長対抗！いばらきの魅力総選挙」と題して、茨城県内の全ての駅長が、「おらが駅の近くのいいものはこれだ。」というものをSNS上で宣伝し合って、それを世の中の人に投票してもらい、勝ち残り戦を行う仕掛けを毎年秋にやっています。まさに「見て覧（ミテラン）」の駅長版のように、いいものを駅長自らが紹介することで、茨城に親しみを持ってもらい、グランプリを決めるといった、楽しみながら魅力をアピールすることもやらせて頂きました。去年は龍ヶ崎市の駅（JR龍ヶ崎駅、関東鉄道竜ヶ崎駅の合同チーム）が優勝しました。そこには小さな飛行場があって、あまり知られていないのですが、遊覧飛行などができる楽しさをPRして、それが1位になりました。その前の年は、駅から見える海の美しさをPRした日立駅が1位になりました。これらはJRだけではなくて茨城県内全ての駅長、ひたちなか海浜鉄道、関東鉄道、鹿島臨海鉄道、首都圏新都市鉄道（つくばエクスプレス）の皆様にもご協力頂いております。

**<大久保>** 妹島和世さん設計の日立駅はすばらしいですね。

**<小川>** 以前の日立駅が古くなって、建て替えましょうということで、妹島先生にデザインして頂き、今は全国にも有名になっています。

**<大久保>** 駅だけ見に来る人もいる。

**<高原>** 先ほど説明された「茨城DCをきっかけに」とありますが、これが大久保ガバナーが言われていることと近い内容ですよ。

**<小川>** そうですね。そういうのがきっかけですね。

＜大久保＞ 話は変わりますが、以前に水郡線の橋梁が流されたとき、復旧を心配する声も結構あったみたいで、大変な中で小川さんが頑張られました。その辺のお話をして頂けますか。

＜小川＞ 2019年10月の台風19号では県内の多くのところが被災し、水郡線の袋田駅～常陸大子駅間にある橋梁も流され不通となりました。地域の皆様にご心配おかけすると同時に、橋梁が流されたことで、改めて鉄道が担う地域への役割は非常に大きなものがあると気づかされました。当初、復旧には2年程度かかると想定していたのですが、結果として、1年半で全線運転再開することができました。これは地域の方々のご協力、自治体の方々への支援があったからこそです。また、当社としても工夫を致しました。通常、橋は設計だけで半年かかってしまうのですが、それだと遅くなるので、条件が似ている全国の橋梁を調べて、施工条件が類似である九州の橋梁に注目し、その設計を活用する工夫を行い、設計期間を短縮することができました。2021年3月に全線運転再開でき、地域の皆様にも喜んで頂きました。これを機に、水郡線が以前と同じでいいのか、さらにいろいろな形で新しく活用して頂くことが今後より一層大切なのではないかと、ということ当社と地域の方々と共に感じ、沿線の方々とも水郡線を使って一緒にいろいろなことをやっていきたいと思います。その一つが、水郡線に自転車をそのまま乗せられるサービスです。試しに駅を限定して、なおかつ、土休日だけということをやってみたところ、思いのほか順調にいったものですから、今でも続けています。サイクリングは茨城DCのアウトドアの一つでもあるし、水郡線を普段からご利用いただいているお客様に加え、新たなスタイルでのご利用が増えて、新しい価値を提供できるという点では、地域にとっても魅力的であり、非常に有意義であると思います。

＜大久保＞ 常磐線も、全線開通して、何か変化はありましたか。

＜小川＞ 復興エリアはまだまだ震災前のご利

用には達していないものの、9年ぶりに常磐線全線がつながったことの重みに加え、インフラの持つ力は心理的にプラスの効果が強く、「福島の復興」さらには「日本全体の復興」というイメージで捉えて頂く方も多く、常磐線の役割は世の中から注目されていると感じています。

＜大久保＞ 今まで各地のロータリーとJRさんとコラボしている例は何かありましたか。

＜小川＞ 直接コラボの記憶はありませんが、私たちの会社は、民間企業でありながら公益性の強い企業であり、社会インフラを支え、地域の方々と共に歩いていくという価値観は似ており、親和性はあると思います。

＜大久保＞ JRは社会の重要なインフラですから、JRがあるからこそ安心していただくと私たちも思っていて、水郡線とか常磐線が切れていると心配ですよね。

＜小川＞ そうですね。人の行き来は社会の元気度のバロメーターだと思っています。鉄道のご利用が多いときは、経済も好調だなというのが分かります。私たちも役割をしっかりと果たすことで、地域の方々の社会活動を支える役割を担っていると感じています。最近、当社も新しい価値創りに励み、ただ単に鉄道で人を運ぶだけではなくて、地域のいいものを発信するお手伝いをもっとしっかりと取り組んでいます。例えば、茨城県で言うと、笠間の駅に注目し、地元の方と一緒に加工した商品を首都圏のエキナカ店舗で販売することでブランド化して地域の盛り上げと交流人口の拡大や活性化を図っています。

＜高原＞ それは自治体とかJAさんと組んでいるのですか。

＜小川＞ はい。自治体とJAさんと組んで、一緒にやっていきたいと思います。

＜大久保＞ 以前に、新幹線で魚を運んでいるというのをテレビで見ましたが。

＜小川＞ さきほどの自転車の例と似ていて、コロナ禍でご利用されるお客さまが激減したことをきっかけに、青森で朝釣った魚を新幹線で運んで昼過ぎに東京で販売したりしています。

同じことを常磐線でもやっており、大洗で朝揚げが生シラスを昼の特急列車で運び、夕方前には、品川駅のエキナカ店舗の魚屋さんで売ると、飛ぶように売れます。

**<大久保>** 今まで考えなかったアイデアですよ。

**<小川>** このような形で「大洗の生シラスは美味しい」とお披露目すれば、「今度大洗に行ってみよう、現地でも食べてみたい。」と思われる方もいらっしゃるのではないのでしょうか。そのようなお手伝いもできますので、地元の皆様との連携を意識しています。

**<大久保>** 最近、私の先輩が車の免許を返納したという話を聞いて、どうするのかと聞いたら、公共交通機関を使うからいいと言うのですが、これからそういう人も増えてくるのではないですか。

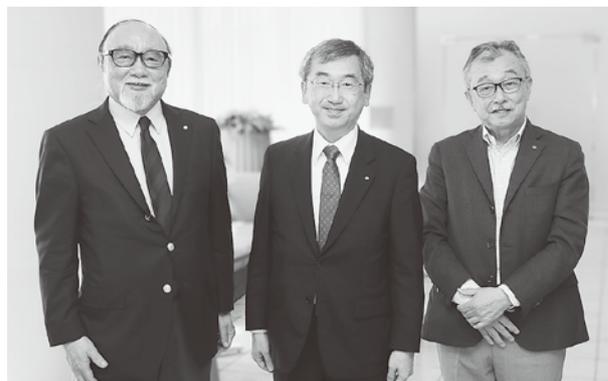
**<小川>** 今、ご高齢の方で免許を返納する事例もありますが、若い方でも「免許は取っても車は買わない」という方が少しずついらっしゃるようです。そのような方々は、当然、鉄道もご活用頂くということでしょうし、カーシェアとかレンタカーなどバリエーションがあるので、遠いところはJRの特急や新幹線を使って移動され、現地ではカーシェアなどを使う、そういったスタイルも多くなってきました。皆様上手にお使いになっています。また、エコという観点でいきますと、車、バス、飛行機、鉄道の中で、CO<sub>2</sub>の排出は鉄道が一番少ないです。このような点も皆様に知って頂けると、環境問題の解決にもつながる可能性があると思います。貨物列車は、常磐線ではほとんど走っていませんが、

これからトラックドライバーが不足することが考えられます。長距離を100台のトラックが走行するとドライバーが100人必要ですが、長距離の拠点同士は列車で運んで、下ろした先をトラックで運ぶという動きはあります。生鮮食料品などは、トラックで運ぶと丸1日、2日かかってしまいますが、新幹線は半日で届くので、そこに付加価値があります。

**<大久保>** 最後に、小川さん個人の意見として、ロータリーに入って、どうでしたか。

**<小川>** 当社はグループ会社を多く持ち、外の方とお付き合いしなくてもグループの中だけで完結してしまいがちな仕事も多いのが特徴です。仕事柄、「列車を走らせていけばいい」となりがちなのですが、ロータリークラブの皆様から当社に対する期待感も感じますし、ご意見も頂戴しながら連携させて頂けることが大切だと思っています。

**<大久保>** DCに限らず、ロータリーのメンバーもJRさんと手を携えて共に地域のために頑張っていきたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願ひします。



大久保ガバナー      小川支社長      高原幹事

## PERSON

**東日本旅客鉄道株式会社 水戸支社長 小川 一路氏** (1965年11月生)

出身地 神奈川県出身

所属 水戸ロータリークラブ

職歴 1989年 東日本旅客鉄道株式会社入社

2001年 水戸支社勝田電車区長

2018年 技術イノベーション推進本部部長・

JR東日本研究開発センター所長兼務

2020年 執行役員水戸支社長(現在に至る)



## 基本的教育と識字率向上月間にあたり

国際ロータリー第2820地区ガバナー

**大久保 博 之**

(水戸RC)

9月は基本的教育と識字率向上月間です。世界では新型コロナウイルスの影響で、世界の全生徒の90パーセント16億人が一時、対面での授業が受けられなくなりました。

国連によると2030年にすべての子どもが初等・中等教育を受けることができるようにするには（児童ではありません）教員が初等教育でなんと2,400万人以上、中等教育で4,400万人の増員が必要とされています。特に開発途上国では女兒の教育がないがしろにされています。

ロータリーが国際奉仕団体である以上こうした状況に常に目を向ける必要があります。各クラブでの国際奉仕活動や、財団の寄付はこのような課題に目を向けて取り組む必要があります。

長らく有色人種で先進国は日本だけでした。今はOECD（先進国クラブ）に韓国、コスタリカ、トルコなどが加盟していますが、こうした国々に共通するのはこれまで教育に力を入れてきたことです。200以上ある国や地域で戦後70年以上もたつのに先進国と開発途上国の差が一向に詰まらないのは基本的教育と識字率向上が進まないからです。

ロータリーの先人の言葉に「一部の貧困を放置すれば、ひいては全体の豊かさを損なう」というものがあります。貧困はテロ、内戦、難民や紛争を招きかねないと思います。私たちロータリーは豊かな世界の実現を図る団体としてこの課題に眼を向けていきたいものです。





## ロータリーの友月間にちなんで

ロータリーの友地区代表

**高 沢 彰**

(水戸RC)

9月はロータリーの友月間です。R Iの公式雑誌は「Rotary」ですが、世界中でロータリークラブが結成されるようになり、各地域の視点を反映したニュースを掲載した地域雑誌が誕生しました。現在では地域雑誌は30以上あり、世界のロータリアンの半数以上が「Rotary」のかわりに地域雑誌を購読しています。ロータリーの友(以下『友』)もその1つです。地域雑誌はR Iの指定記事、R I指定月間の関連記事、特集などを必ず掲載しなければならないとの定めがあります。

『友』がどのような組織で作られているか、ご存じでしょうか。私も『友』地区代表になるまでよく知らなかったのですが、『友』編集部と、ロータリアンで構成される『友』事務局が実働部隊で、その活動をガバナーやパストガバナーなどで構成される『友』委員会が指導監督する、という形になっています。毎月の雑誌編集はおそらく大変な仕事量だと思います。

ところで、みなさまは『友』をお読みになっておられますか。お忙しいロータリアンのみなさまはなかなか時間がとれず、『友』をゆっくりとご覧になる時間がないかもしれません。私の所属する水戸ロータリークラブでは『友』の担当である雑誌委員会が「友のお供新聞」という『友』の記事のダイジェスト版を作成し、『友』と共に配布しています。2016年からの試みで、毎年ガバナー公式訪問でもご評価いただき、現在まで続けております。委員会の負担は増し、労力はかかりますが、アンケートの結果では会員

の評価もよく、『友』を開いていただけるきっかけとなっているようです。

『友』は今年1月に70周年を迎えました。これを機に、バックナンバーをホームページで閲覧・検索することが出来るようになっていきます(<https://www.tomo-archive.net>)。閲覧にはIDとPWが必要ですが、これは各クラブ事務局に送られる半期ごとの『友』請求書に記載されており、PWは半期ごとに変更となります。70年にわたる多彩な記事、またR Iの時代ごとの動静なども分かります。どうかご活用下さい。

7月号

### 友のお供新聞 (Simple)

水戸RC  
雑誌委員会

---

**【RI会長メッセージ】**

『行動しよう』  
2023-24年度 国際ロータリー(RI)ゴードンR.マッキナリー会長からのメッセージです。

新たに深刻な課題に直面しつつも、ロータリーは会員と世界の人々のために動き、恒久的な平和を築くために尽力し、全ての活動に多様な意識とインクルージョンを促進させています。そんなわけで、私はロータリーの皆さんに「世界に希望を生み出そう」と呼びかけています。今年度、私は、多様性、公平さ、インクルージョンに焦点を当て、ロータリーが奉仕する地域社会を反映し、人の持つ才能と経路の全てを活用するための重要な方策を引き続き検討していくことで、全人類により良く奉仕します。

(内容必見です！)  
(P6~17)



**【ガバナーの横顔】**

全地区のガバナーが紹介されています。2820地区はもちろん大久保博之ガバナー。内田浩司会長がガバナーの一人となりを紹介しています。

(絶対読んでください！)  
(P18~35)

第2820地区



**【母子の健康】**

持続可能な母子の健康への取り組み  
7月は母子の健康月間です。ロータリーは地域社会が自力で母子の健康を守るような仕組みづくりを推進しています。ロータリーの活動が女性と子どもに健康をもたらしています。

使わないおむつと地域の課題をマッチングさせた「高知おむつバンク」などが紹介されています。  
(P42~45)

**【ROTARY AT WORK】**

第2820地区、古河東RCの青少年奉仕事業の一環として開催した子ども模範裁判などの事業が報告されています。白雪姫が被審者兼証人です。  
(P46~50)

【たどってみようロータリーのあゆみ】

1905年の創立から現在に至るまでのロータリーの主な出来事を「ロータリーのあゆみ」でご覧いただけます。アーカイブに保存された資料や写真、動画とともにロータリーの重要な出来事やプログラムが紹介されています。(P58)

(QRコードからご覧になってください。)



**【お知らせ】**

新年度がスタートしました。当委員会では今年度も『友のお供新聞』を発行していきます。慣れない発行ですが、何卒よろしくお読み申し上げます。



## 会員基盤向上セミナー報告

クラブ奉仕 総括委員長

**星野 幸子**

(水戸西RC)

6月18日(日)、ホテルテラスザガーデン水戸において、2023-2024年度の会員基盤向上セミナーを開催しました。

冒頭、大久保ガバナーエレクトより本日のセミナー受講により新年度、各クラブが主役となるためのアイデアを取得してほしいとの言葉がありました。

また、会員増強は会員基盤向上の重要なことのひとつではあるが退会防止こそ最重要、ロータリーライフの充実とは親睦活動の充実(各種奉仕の実践が前提)、「目標は一人一人のクラブライフの充実」と述べられました。

藤居彰一クラブ奉仕担当カウンセラーは、優先すべきはクラブであり、クラブで決めたことを実行するとき手助けすることが基盤を強くするとの言葉がありました。

私より、クラブ奉仕委員会の役目はクラブの魅力を引き出し未来へつなぐクラブ作りのお手伝いと話しました。「会員目標2,000名」、「女性会員比率現状9%から15%へ増加」、「出前卓話・新入会員オリエンテーションの実施」等地区の現状と課題について述べました。

吉岡隆久会員増強委員長は、各クラブが抱える課題を会員・クラブ・地域社会の視点からとらえ広範囲にわたり解説、具体策を例示しました。

各分区のガバナー補佐からは、分区における現状と大久保年度の会員増強・維持(退会防止)の方針を述べられました。

大高司郎ガバナーノミニーからは連続受賞中のロータリー賞継続の為に具体策・具体例を示し、会長幹事の皆様に強く訴えられました。

基調講演は大久保ガバナーエレクトとも親しい、第1地域ロータリーコーディネーター 第2790地区パストガバナー 橋岡久太郎様(佐倉中央RC)に「ロータリーを育てる: Grow Rotary」と題し、ご自分の入会時から最近のRIの国際情勢の変化についてお話しいただきました。

また、情報伝達スピードアップの中でのDEI(多様性・公平さ・インクルージョン)の推進の大切さなどを話され、最後に「一番いい時代はこれからだ!」とポール・ハリス1922年の言葉で大久保年度の成功をご祈念いただきました。

高橋賢吾奉仕プロジェクトリーダーの感想と橋岡様へのお礼の言葉に続き、新井和雄研修リーダーの総評がありました。総評の中で橋岡家とのかかわりに触れられ、「TX第一号列車発車時の能楽披露・中東での能楽披露等」と興味深いお話を伺いました。

最後に、「ロータリーに育てて頂いた私達が魅力的になることが会員増強に直結する」との言葉で締めくくられました。





## クラブ奉仕研究会

クラブ奉仕 総括委員長

**星野 幸子**

(水戸西RC)

大久保年度最初の地区のセミナーとして、クラブ奉仕研究会が7月8日、ホテルテラスザガーデン水戸で開催されました。

初めに、大久保ガバナーからのご挨拶で、地区の各クラブが主役であり、地区は応援団である、とのお話を頂きました。

クラブ奉仕委員会の担当カウンセラーである、藤居彰一パストガバナーからは、ロータリー賞の連続受賞に賞賛を送られました。ポール・ハリス・ソサエティのメンバーが60数名から100名を超えたことにふれ、当地区の素晴らしいさを強調されました。

会員増強も、昨年度の期首に比べ大幅に増えている。しかし、今後の会員の維持増強を考えると、ロータリアンとしての生き甲斐は何なのか、お互いを認め合い、居心地のよいクラブを作ることがすべての基本であると述べられました。

今回基調講演に、2015-2016年度第3ゾーンエンドポリオナウコーディネーター 第2690地区 2014-2015年度ガバナーの松本 祐二氏(益田西RC)をお招きし、「ロータリーとエンゲージメント」と題して、ロータリーとの関わりを如何に密にして作っていくか、そして、エンドポリオの活動についてなど、ご講演をいただきました。ロータリーライフを続けると幸せになり長生きするとのお話を頂きました。茨城県の平均寿命が47都道府県のうち、下位の方だったのが驚きの事実でした。

詳しい内容は、講演の動画を地区HPにアップしてあるので、参考になさってください。

その際、音声聞きづらいとの声をアンケートより頂きました。今後、ワイヤレスピンマイクなどを活用し、皆様にお届けしたいと考えます。

ラーニングファシリテーターの新井和雄パストガバナーからは、総評として松本先生のタイトルになった「エンゲージメント」は、ロータリー行動計画4つの項目の二番目(参加者の基盤を広げる)に該当することです、とのお話を頂きました。クラブ目標を入力する際に、年次基金寄付額150ドルを間違えないようにしようとの忠告も頂きました。

午後1時から今回30分早めの4時30分に終了しましたが、長いとのお話も頂きました。次回、3時間で終了できるように工夫したいと存じます。

皆様、お暑い中、ご参加いただき、ありがとうございました。





## 奉仕プロジェクトリーグセミナー

社会奉仕 総括委員長

**関本 淳一**

(土浦RC)

7月15日に実施されました奉仕プロジェクトリーグセミナーにおいて、本年度地区社会奉仕委員会で編纂を担当する「茨城ガイドブック “見て覧（ミテラン）”」について、各担当者様向けに詳細を説明させていただきました。

当事業は、大久保ガバナーの地区スローガンである「まちを磨けば、あなたが輝き、世界を彩る」を实践すべく、第2820地区のロータリアン全員で【世界に誇れる茨城県の観光スポット】を考え、世界に広く発信することが可能となるツールです。本年度地区大会が行われる11月4日に合わせて発行し、地区内全ロータリアンだけでなく全国の一般市民の方々にも広く手に取っていただき、茨城県の魅力をより知ること、各地に観光に訪れていただくこと、そして茨城県全体が人であふれ活性化することを目的としています。地区大会でお配りするため、各クラブ内担当者の皆さまには、大久保ガバナー年度が始まる前からご尽力いただき、掲載スポットの調査や取材を行っていただいております。

本セミナーでは、事業概要を説明したのちの質疑応答がメインとなりましたが、その中で各担当者様が一番苦労されていたのが、掲載ス

ポット候補地の選定でした。そこで、当日ご臨席いただいていた大久保ガバナーに急遽ご登壇願ひ、改めて「見て覧（ミテラン）」作成の意義・目的について熱く語っていただくことで、選定への明確な道標を示していただきました。そのほか、掲載内容の具体的な注意事項や、掲載許諾・写真等についても多くの質問をいただき、地区委員が想定していない問題に対する気づき、そして対応策も得ることができました。

ガイドブックの編纂という未知の領域で、五里霧中・暗中模索が続いておりますが、カウンセラーや委員会メンバー、その他多くの方々に支えられ一步一步完成に向けて進んでいると感じています。セミナー後半では、具体的・技術的なお話よりも、想いや背景などの抽象的な内容が多くなりましたが、やるからには少しでも良いもの・役に立つ本を創りたいという気持ちをお伝えし、参加された各担当者様から共感をいただけたものと自負しております。地区内ロータリアンが一体となって、地区全体を盛り上げる一助となることを祈って、セミナー開催報告とさせていただきます。引き続きのご協力を、どうぞよろしく願いいたします。



## ロータリー財団研究会

第2820地区ロータリー財団委員会

総括委員長 **新井和雄**

(下館RC)

2023年7月22日、ホテルテラスザガーデン水戸を会場に、地区内各ロータリークラブ、ローターアクトクラブからクラブ財団委員長の参加を頂き、2023-2024年度ロータリー財団研究会を開催しました。昨年度に引き続き、他地区から2名の地区財団委員長と1名の次期地区財団委員長が参加され、当地区の活動が模範として評価されていることに、地区内会員の皆様方のご活躍と地区財団委員各位のご努力に対し、総括委員長として心より感謝申し上げます。

はじめに、本研究会の目的は、変化の激しいロータリーの中において、地区財団委員会が地区内各クラブの奉仕活動をどのようにサポートできるのかを知って頂くことです。そのために、国際ロータリー第1地域ロータリー財団コーディネーター補佐の梶原等様（第2790地区）を招聘し、ロータリー財団の最新情報について基調講演を頂戴しました。また、我々地区財団委員会の各小委員会からは、ポリオ根絶について、地区補助金の活用について、グローバル補助金の活用について、平和フェロシップについて、ロータリーカードについて、実例を示しながら説明させて頂きました。

つぎに、大久保ガバナーが掲げる地域おこしプロジェクト「見て覧（ミテラン）」は、地区社会奉仕委員会が主導し、地区補助金を活用します。また、今年度も地区内55全クラブが地区補助金を活用して奉仕活動が実施されることに成りました。そして大久保年度初めてのグローバル奨学生が合格となり、イギリスのサセックス大学に於いて国際開発学の研究をされることになりました。

最後に、大久保ガバナーはウクライナの人道支援として、紛争被災女子の保護とエンパワー

メントのプロジェクトを行う決意をされました。これは、2022年2月24日のロシア軍によるウクライナ侵攻以来、当地区が続けてきた人道支援である、生活物資配給所や仮設住宅の設置に連なる国際援助としてウクライナ2232地区から強い要望があったものです。

我々財団委員会一同、皆様のクラブを縁の下から支えて参る所存ですので、年次寄付・ポリオなどの特定寄付・ウクライナへの人道支援に対する寄付など、皆様の暖かいご支援をお願い申し上げます。

末筆ではございますが、地区内会員の皆様方の益々のご多幸と皆様のクラブの発展を祈念し地区財団研究会の報告とさせていただきます。





## 青少年奉仕研究会

青少年奉仕 総括委員長

**高田 稔美**

(つくば学園RC)

7月23日(日)3年ぶりのフルスペックでの「青少年奉仕研究会」をホテルテラスザガーデン水戸において地区役員、地区委員、各校顧問の先生、インターアクター、ローターアクター、ROTEX、青少年交換留学生、各クラブの青少年奉仕関係者の皆様など110名の参加者があり盛大に開催することができました。まずは総括委員長として昨年度の報告と現状の課題について報告、その後4つの委員会の委員長から報告と方針が説明されました。まずインターアクト委員会(太田秀夫委員長)からは6校のインターアクトの活動報告を行い、各校が工夫をして奉仕活動に取り組んでいることがわかり、高校生らしい澁淵とした発表に感銘を受けた参加者も多かったと思います。8月11日に水城高等学校で開催されます年次大会(スポンサークラブ・水戸RC)のPRもあり有意義な報告となりました。ローターアクト委員会(塚越俊祐委員長)からは前田代表の力強いメッセージと

会員増強への意気込み、今後の活動について話していただきました。今年度はローターアクト再生の年にするべく活動を共にしていくことを確認しました。青少年並びにライラ委員会(今川武彦委員長)からは昨年度の報告と今年度の計画の発表がありました。実りあるライラセミナーにしたいと思います。青少年交換委員会(宇留野秀一委員長)からは現状の課題と来年度の募集の告知がありました。帰国した2名の交換留学生の成果発表、8月よりアメリカに赴く留学生から決意表明がありROTEXの二人からも留学の意義、激励のメッセージがあり意義ある青少年交換留学の報告会とすることができたと感じます。その後トークセッションと題して土浦RCの「体験型子ども食堂」の事例発表、参加者からの感想発表をして閉会となりました。関係者の皆様にあらためて感謝申し上げまして、報告とさせていただきます。





## 公式訪問報告つくば学園

飯 泉 智 弥  
(つくば学園RC)

2023年7月6日(木)野澤年度第一例会が、大久保年度最初の公式訪問と重なり、新役員一同緊張した中、大久保ガバナー、高原地区幹事、増山地区会計長、香嶋地区副幹事、鶴田ガバナー補佐をお迎えいたしました。

当クラブが長年取り組んできた「ロータリーの森」への視察では、野堀PDGより、森創り事業の歴史と今後の展望をお話いただきながら「記念碑」のもとで記念撮影をさせていただきました。またゆかりの森は、当クラブの「見て覧(ミテラン)」の候補地でもあるため、ご来訪いただいた皆様にその意義を理解していただく貴重な機会となりました。

事前協議会では、吉岡PDG、野堀PDG、大野PDGがお出迎えのもと、和やかな雰囲気の中、クラブの現状報告、今後の事業、会員拡大、同好会活動の現状などについて協議いたしました。

例会では、大久保ガバナーより、RI会長が掲げるテーマと大久保ガバナーが掲げる地区方

針・スローガンについて丁寧な説明をいただきより一層理解が深まりました。

クラブ協議会では、各委員長の事業計画の発表に際し、大久保ガバナーからは、一定のルールのもとクラブの特色を生かし自由で楽しいクラブ運営をしてくださいとのお言葉と、数々のご指導をいただき大変有意義なひと時となりました。

大久保ガバナーをはじめ、地区役員の皆様におかれましては、大変お忙しい中でのご来訪に心より感謝申し上げます。





## ロータリー国際大会 2023 in メルボルン報告

ガバナーエレクト

**大 高 司 郎**

(高萩RC)

年に1度のロータリーの祭典、2023年国際大会（登録者数12,816人）は5月27～31日までオーストラリアのメルボルンで開催されました。

国際大会はロータリー最大のイベントであり、毎年世界中のロータリアンが集まって盛大に開催されます。大会は毎年開催国を変えながら今年で114回目を迎えました。

全ての行事はメルボルン国際会議場とロッド・レバー・アリーナで行われ、特に開会本会議は参加者が多く、全豪オープンで開催地ロッド・レバー・アリーナで午前の式典となりました。

開会本会議最大の見応えは、ロータリークラブがある世界200カ国以上の紹介と国旗の入場です。まさにロータリーの多様性と団結の象徴

であり、さながら2021年に開催された東京オリンピックの入場行進のような雰囲気です。さらにカナダのボーカルグループ「The TENORS」のエンターテインメントがあり、会場全体は熱気に満ちていました。同時通訳はスマホでQRコードを読み取り、イヤホンを通じて聴けて大変便利です。開会式終了後は「友愛の家」に移動、多くの展示ブースの見学やおみやげの物販販売を楽しみました。

次の国際大会はシンガポール（2024年5月25日～29日）開催です。開会本会議の5月26日（日曜）には茨城ナイトを開催予定です。世界中から集うロータリアンと友情と親睦を深め一生の思い出をつくりましょう。皆さまのご参加をお待ちしております。



## 2023-2024 年度 地区大会のご案内

### 【大会スローガン】

まちを磨けば、  
あなたが輝き、世界を彩る  
CREATE HOPE in the COMMUNITY

11月4日（土）

第1回会長幹事会

（水戸市民会館）

R I 会長代理ご夫妻歓迎晩餐会

（水戸プラザホテル）

11月5日（日）

本会議・大懇親会

（水戸市民会館）



本年7月に竣工した水戸市民会館（本会議会場）

～ 皆様のご参加を心よりお待ちしております ～

## 2024年 シンガポール国際大会早期登録のご案内

**国際大会 開催期間**（2024年5月25日～29日）

My ROTARYにてオンライン登録が可能です。登録料が\$500（9月1日現在）となり開催期日が近づくにつれて、段階的に上がっていきます。茨城ナイトは国際大会期間中の2024年5月26日を予定しております。

### 国際大会の会場とホテル

大会の会場はマリーナ ベイ サンズ エキスポ & コンベンション センターとナショナルスタジアムの2か所となります。個人でいらっしゃる方は、ホテルをMy ROTARYで予約されるのも一案です。会場に近いホテルから埋まっていますので、早めの予約をお奨めいたします。



国際大会会場のマリーナ ベイ サンズ



## IMAGINE 2022-23年度 ローターリー賞受賞報告

クラブ奉仕支援アドバイザー 大高司郎(高萩 RC)

2022-23年度、第2820地区は全55クラブがロータリー賞を受賞（受賞率100%）しました。最も栄えあるクラブ受賞に心よりお慶び申し上げます。改めて2022-23年度(大野治夫DG)クラブ会長・幹事、並びに会員の皆さまのご功績に敬意を表します。また、当地区は日本34地区内で4年連続「クラブ受賞率 国内第1位」、そして世界約530地区で3年連続「クラブ受賞率 世界第1位」となりましたことをご報告いたします。

ロータリー賞は RI 会長よりクラブに授与される最も重要な賞であり、世界中の全てのクラブはロータリーとクラブを強化することを目的とした RI 会長が定める年度ごとの各種目標を達成することで、ロータリー賞を受賞することができます。25の目標には会員増強・維持、持続可能なプロジェクトの立案、財団の寄付、地域社会での奉仕活動や公共イメージ向上等が含まれています。

### 日本のゾーン(1A、2&3)報告

日本 34 地区:319RC / 2207RC が受賞: クラブ平均受賞率 14.4%

(参考:2021-22年度 316RC / 2214RC が受賞: クラブ平均受賞率14.2%)

### 日本 34 地区内ランキング

順位	地区	受賞 RC	受賞率	(前年度順位)	(受賞 RC)	(受賞率)
1 位	第 2820 (茨城県全域)	55 / 55	100%	1 位	55RC	100%
2 位	第 2660 (大阪北部)	59 / 77	76.6%	2 位	53RC	67.0%
3 位	第 2530 (福島県全域)	36 / 61	59.0%	3 位	35RC	55.5%
4 位	第2580 (東京東北部・沖縄)	22 / 73	30.1%	—	0RC	0%

日本のゾーン1A、2&3でロータリー賞受賞ゼロクラブは2地区で前年度と変わらず。2018-19年度第1位（受賞率 61.2%）の第 2660 地区は前年度受賞率を上回り76.6%。前年度0クラブの第2580地区は初の4位入賞（30.0%）と大健闘。

### 2022-23年度 ローターリー賞総括

当地区のロータリー賞受賞は、8年連続受賞の古河東RCを筆頭に、連続受賞クラブ（高萩RC7年連続等）が激増、近年は全クラブ受賞地区に。それに伴い、年度会長のチャレンジ意識が大きく変化。以前の、無関心、諦めから、チャレンジ精神に芽生え奉仕事業の強化や財団の目標の達成、会員増強・維持率なども意識した年度取組が強化されています。2022-23年度は4月16日、対象を会長・幹事とした「ロータリー賞の最終説明会」をオンラインで開催。4～5月は受賞に向けた強化月間としました。最後に、地区は4年ぶりに会員増加(1,813名→1,852名=+39名)に転じたことをご報告いたします。

## 2026－2027 年度 地区ガバナー候補者推薦のお願い (ガバナーノミニー・デジグネート)

このことにつきましては、2012年5月26日の指名委員会・ガバナー補佐合同会議及び2012年8月18日の諮問委員会において、今後の第2820地区ガバナーノミニーの選出が、ガバナー及び輩出クラブの負担軽減を含め、スムーズに行われるよう、現行制度を以下のように改革する案が協議され採択されております。

### 協議事項1. 第2820地区の8つの分区を以下の5つのブロックにする。

第1ブロック	第1分区、第2分区
第2ブロック	第3分区
第3ブロック	第4分区、第5分区
第4ブロック	第6分区
第5ブロック	第7分区、第8分区

### 協議事項3. ガバナーノミニーの選出ブロック順は以下となる。

2026－2027	第3ブロック
2027－2028	第4ブロック
2028－2029	第2ブロック
2029－2030	第1ブロック
2030－2031	第5ブロック

2026－2027年度ガバナー（ガバナーノミニー・デジグネート）については、協議事項3により、第3ブロックより選出されることとなりますので、第3ブロック内クラブより推薦いただき、ガバナー事務所にご連絡ください。

ガバナー指名委員長 高橋 賢吾

## 6月会員増強報告

分 区	クラブ名	会員増強報告 (単位/人)								
		本 年 末 会員目標	期 首 会員数	6月実績		本年度累計			2023年 6月末日	うち 女性
				入会	退会	入会	退会	純増		
第1 分区	日立	74	72	0	2	6	9	-3	69	3
	日立南	32	26	1	4	12	6	6	32	2
	高萩	29	25	0	0	3	2	1	26	0
	北茨城	30	27	0	0	0	2	-2	25	3
	日立港	35	34	0	1	3	4	-1	33	3
	日立北	31	28	0	1	4	4	0	28	0
	日立中央	20	17	0	2	5	4	1	18	3
	合 計	251	229	1	10	33	31	2	231	14
第2 分区	那珂湊	26	23	0	0	1	1	0	23	1
	常陸太田	35	32	0	2	2	5	-3	29	6
	大子	23	21	0	0	0	0	0	21	2
	大洗	16	15	0	0	2	0	2	17	0
	勝田	28	26	0	0	0	0	0	26	3
	東海那珂	38	36	0	3	0	6	-6	30	0
	ひたちなか	21	19	0	0	2	0	2	21	2
	合 計	187	172	0	5	7	12	-5	167	14
第3 分区	水戸	121	119	3	3	15	10	5	124	4
	笠間	18	15	0	0	0	0	0	15	0
	水戸西	77	72	2	2	4	5	-1	71	11
	水戸南	80	77	1	3	4	4	0	77	12
	友部	23	21	0	2	1	5	-4	17	0
	水戸東	68	63	0	2	1	2	-1	62	3
	水戸さくら	42	34	0	2	13	8	5	39	3
	水戸好文	18	16	1	1	1	1	0	16	15
合 計	447	417	7	15	39	35	4	421	48	
第4 分区	古河	55	52	0	0	0	1	-1	51	3
	境	31	28	0	0	2	1	1	29	0
	岩井	12	9	0	0	0	3	-3	6	1
	古河東	55	53	0	4	2	4	-2	51	16
	古河中央	46	40	0	0	6	0	6	46	5
合 計	199	182	0	4	10	9	1	183	25	
第5 分区	下館	34	32	0	3	2	5	-3	29	3
	結城	23	21	0	0	4	1	3	24	0
	真壁	16	14	0	0	1	0	1	15	0
	下妻	34	32	9	0	32	3	29	61	7
	しもだて紫水	61	51	1	0	5	5	0	51	4
	筑西きぬ	14	12	0	1	0	1	-1	11	1
	岩瀬	21	19	0	0	1	0	1	20	0
	合 計	203	181	10	4	45	15	30	211	15
第6 分区	石岡	21	16	0	0	1	0	1	17	0
	土浦	50	48	0	2	3	3	0	48	7
	土浦南	88	86	3	1	9	8	1	87	7
	つくば学園	90	87	5	1	18	4	14	101	0
	石岡87	28	26	0	0	1	3	-2	24	0
	土浦中央	14	12	0	1	2	3	-1	11	0
	つくばシティ	53	51	0	2	6	4	2	53	8
	阿見	14	13	0	1	3	3	0	13	2
つくばサンライズ	12	10	0	0	4	1	3	13	6	
合 計	370	349	8	8	47	29	18	367	30	
第7 分区	竜ヶ崎	35	33	0	0	2	1	1	34	5
	水海道	54	51	0	1	5	3	2	53	2
	取手	21	18	0	1	0	1	-1	17	1
	牛久	38	36	0	0	2	0	2	38	3
	守谷	4	3	0	0	0	0	0	3	0
	龍ヶ崎中央	11	8	0	1	0	1	-1	7	1
合 計	163	149	0	3	9	6	3	152	12	
第8 分区	鉾田	32	30	0	0	0	0	0	30	0
	鹿島臨海	44	44	1	2	3	3	0	44	3
	玉造	9	7	0	0	1	0	1	8	1
	波崎	16	14	0	0	1	2	-1	13	1
	鹿島中央	23	20	0	2	3	3	0	20	2
合 計	124	115	1	4	8	8	0	115	7	
茨城Eクラブ	14	12	0	1	0	1	-1	11	5	
地区合計	1958	1806	27	54	198	146	52	1858	170	

※期首とは7月1日の午前0時時点、末日とは当日末日午後12時時点とする。

## 新会員紹介



水戸東RC  
**寺門 弘二**

- 入会日  
2023年4月20日
- 職業分類  
信用金庫



阿見RC  
**大野 利明**

- 入会日  
2023年5月2日
- 職業分類  
行政書士



水戸好文RC  
**河野 秀幸**

- 入会日  
2023年6月1日
- 職業分類  
碎石製造



鹿島臨海RC  
**藤城 徳光**

- 入会日  
2023年6月2日
- 職業分類  
建設・住宅(土木事業)



つくば学園RC  
**阿部 聖**

- 入会日  
2023年6月8日
- 職業分類  
建設業



つくば学園RC  
**増田 明一**

- 入会日  
2023年6月8日
- 職業分類  
ビルメンテナンス



下妻RC  
**斯波 元気**

- 入会日  
2023年6月9日
- 職業分類  
行政書士



下妻RC  
**鈴木 絵梨**

- 入会日  
2023年6月15日
- 職業分類  
飲食業



水戸RC  
**井上 健**

- 入会日  
2023年6月20日
- 職業分類  
損害保険業



水戸RC  
**平木 英樹**

- 入会日  
2023年6月20日
- 職業分類  
道路運送業



水戸RC  
**酒井 信之介**

- 入会日  
2023年6月20日
- 職業分類  
証券業



土浦南RC  
**五木田 宏**

- 入会日  
2023年6月20日
- 職業分類  
不動産賃貸業



土浦南RC  
**矢口 奈々**

- 入会日  
2023年6月20日
- 職業分類  
観光農園



下妻RC  
**齋藤 雅英**

- 入会日  
2023年6月25日
- 職業分類  
飲食業



土浦南RC  
**中 磯子**

- 入会日  
2023年6月27日
- 職業分類  
私立大学



下妻RC  
**青木 和則**

- 入会日  
2023年6月29日
- 職業分類  
運送業



下妻RC  
**小口 泰永**

- 入会日  
2023年6月29日
- 職業分類  
設備



つくば学園RC  
**小野 将弘**

- 入会日  
2023年6月29日
- 職業分類  
レストラン



つくば学園RC  
**小松 玲**  
■入会日  
2023年6月29日  
■職業分類  
ゴルフ場



つくば学園RC  
**芝山 健一**  
■入会日  
2023年6月29日  
■職業分類  
飲食チェーン



下館RC  
**富田 良一**  
■入会日  
2023年7月5日  
■職業分類  
IT機器販売管理



勝田RC  
**清水 利春**  
■入会日  
2023年7月7日  
■職業分類  
保育園経営



つくばシティRC  
**鐵屋 竜朗**  
■入会日  
2023年7月19日  
■職業分類  
ワイン輸入販売



つくば学園RC  
**廣原 毅士**  
■入会日  
2023年7月27日  
■職業分類  
総合商社

## 地区大会 企業広告のお願い

2023-2024年度地区大会の運営にあたりましては登録料の見直しをせず、できるだけシンプルに、そしてスマートに開催を目指しておりますが、昨今はあらゆる物のコストが高騰しているのが現状です。

その趣旨をご理解いただき、本大会の成功のために「広告協賛」という形でご支援をお願いする事とさせていただきます。

皆様のご理解、ご協力を賜りますよう、宜しくお願いいたします。

【概要】 ・地区大会パンフレット広告ページに掲載（社名及びロゴマーク等）  
・地区大会2日目本会議休憩時間等に企業名をスクリーンに投影

【金額】 ・一企業 ¥60,000-

【申込方法】 下記申込先へご連絡いただきますと、申込み用紙を送らせていただきます

【申込期限】 令和5年9月25日

【申込先】 国際ロータリー第2820地区 ガバナー事務所  
茨城県水戸市宮町1-7-20 ホテルテラス ザ ガーデン水戸1階  
TEL：029-246-5766 FAX：029-246-6533  
E-mail：23-24@rid2820.jp ホームページ：http://www.rid2820.jp

## 9月・10月のガバナー公式訪問・スケジュール

9月 1日(金) 勝田RC  
 9月 2日(土) つくばサンライズRC  
 9月 5日(火) 真壁RC  
 9月 6日(水) 常陸太田RC  
 9月 7日(木) 大洗RC  
 9月11日(月) 那珂湊RC  
 9月12日(火) 竜ヶ崎RC  
 9月13日(水) 岩瀬RC  
 9月14日(木) 波崎RC  
 9月15日(金) 古河RC  
 9月19日(火) ひたちなかRC  
 9月20日(水) 高萩RC  
 9月21日(木) 鹿島中央RC  
 9月22日(金) 鹿島臨海RC  
 9月23日(土) ガバナー補佐・総括  
 合同会社  
 9月27日(水) 水戸西RC  
 9月28日(木) 水戸東RC  
 10月 4日(水) 土浦中央RC  
 10月 5日(木) 土浦RC  
 10月11日(水) 石岡RC  
 10月12日(木) 石岡87RC  
 10月16日(月) 牛久RC  
 10月17日(火) 土浦南RC  
 10月18日(水) つくばシティRC  
 10月19日(木) 水戸好文RC  
 10月20日(金) 水戸南RC  
 10月21日(土) 茨城EC  
 10月24日(火) 古河東RC  
 10月25日(水) 水海道RC  
 10月26日(木) 阿見RC  
 10月31日(火) 水戸RC

## &lt;お詫びと訂正&gt;

月信7月号12ページ第1分区北茨城RC  
 幹事のお名前が間違っておりました。大  
 変申し訳ございませんでした。お詫びと  
 訂正を申し上げます。

(誤) 細田 鉄一 (正) 細田 欽一

## 第2820地区 第29回地区親善野球大会ご案内

ガバナー 大久保博之  
 地区幹事 高原 裕  
 親善野球大会実行委員長 石井 隆志  
 ホストクラブ会長(水戸RC) 清水 洋一

この度、下記の日程にて第29回地区親善野  
 球大会を開催いたしますのでご案内申し上げ  
 ます。

日 時：2023年11月12日(日)

午前7:30 登録開始 /

午前8:15より 開会式

場 所：水戸市総合運動公園

軟式野球場(四面球場)

水戸市見川町2256

TEL 029-243-0111

登録料：70,000円(1チーム)

◆小雨決行と致しますが、荒天の場合は大  
 会を中止と致します。

◆中止の際には、午前5時頃に連絡者携  
 帯にご連絡いたします。

◆雨天中止の場合は、登録料から必要経  
 費を差し引いてご返金いたします。

参加方法：別途お送りいたします開催要項を  
 ご確認の上、「第29回地区親善野球  
 大会参加者名簿」を9月15日(金)まで  
 にガバナー事務所へご返信をお願い  
 致します。

※登録料振込口座、大会規定等、詳細につきまし  
 てはご参加のクラブ宛に後日連絡いたします。

## 【申込・問い合わせ先】

大久保博之ガバナー事務所

E-mail：23-24@rid2820.jp

TEL：029-246-5766 / FAX：029-246-6533

LINE 公式アカウント

@103mbrqx

## 友だち募集中

第2820地区公式LINEを開発いたしました。  
 LINEアプリより友達登録をしていただくと、  
 地区からのお知らせや月信がご覧いただけます。



LINEの「友だち追加」から、ID検索するか  
 QRコードをスキャンしてください

## (私論) 世界の奉仕団体

ガバナー 大久保 博之

- ロータリークラブが1905年米国イリノイ州シカゴで弁護士ポール・ハリスによって創立されたことはロータリアンならどなたでも御存知でしょう。ライオンズクラブ国際協会(モットー・WE SERVE・我々は奉仕する)が1917年同じシカゴで、実業家メルビン・ジョーンズによって創立されたことを知っている人も少なくないことと思います。
  - 国際青年会議所(Junior Chamber・モットー・奉仕、修練、友情、世界95カ国・国内756会議所)が1910年、イリノイ州の隣のミズーリー州セントルイスにて銀行員ヘンリー・ギッセンバイヤーによって創立されたことを知っている方もおられると思います。
  - さらに世界的奉仕団体キワニスクラブ(モットー・WE BUILD・我々は建設する・世界76カ国320,000人、8,152クラブ48地区、国内18クラブ)が1915年その隣のデトロイト州ミシガン市に創設されたことを知る人はまれでありましょう。
  - マニアックになりますが1922年にその隣オハイオ州においてポール・ウィリアム・アレキサンダーによってワイズメンズクラブ(世界140カ国29,000名・国内152クラブ3,300名)が誕生したことを知っていればあなたは立派な奉仕団体通であります。
  - これらの団体がなぜ1905, 1910, 1915, 1917, 1922年という近い時期にしかも米国中西部で創立されたのか? 私は常々疑問に思ってきました。しかし先日幹事の職務上ロータリー要覧を見ていたらこんな言葉がありました。すなわち「社会の一部の貧困を放置することは、ひいては社会全体の豊かさをも失う・・・」
  - このクラブが生まれた当時は1914年第1次世界大戦前後、あるいは1929年世界大恐慌前夜であります。原始的資本主義は米国では弱肉強食の世界(今の中国やロシアの様かも知れません)。失業者は溢れ社会は荒廃し、禁酒法なる悪法が生まれ、(こんなのが日本にできたら亡命します)アル・カボネがエリオットネスとドンパチやっていた時代であります。特に中西部はひどい状況であったと聞きます。それを見てそこに米国的ピューリタニズムとあいまって理想を掲げる人が続出したのではないが。その精神が普遍性をもって世界の財産になっている。
- ロータリーの原点は
- 1) 社会の貧困、あるいは社会の心の貧困を放置せず、できることからコミュニティの中で実践すること。
  - 2) できればそれを自分の職業という手段の中でそれを通してやること。
  - 3) 無理をすると続かないので少しずつでも末永く続けることにあります。



### 編集後記

月信編集委員の山口政美と申します。2014年9月に水戸RCに入会しまして今年度で9年目となりました。ロータリーに入会しなければ経験できなかったコトはいくつかありますが、この編集委員という大役もまさにそうです。出版業界で働いているわけではないのに、どんな記事を掲載する? 見出しの文言は? 記事の並び順は? 不適切な表現は無い? 誤字脱字を探しだす等、様々な任務があります。初めにお詫び申し上げますが、素人が取り組んでおりますので抜けや漏れがありましたらお許しください。また、地区副幹事も拝命しておりますので、大久保ガバナーが公式訪問する際のセクレタリーとして、2ヶ所のクラブにお伺いいたしますので、お会いできることを楽しみにしております。1年間どうぞよろしくお願い申し上げます。

